

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: さきたま史跡の博物館
 担当名: 総務・公園管理担当
 内線:

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P49	さきたま史跡の博物館管理費			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費			
事業期間	昭和44年度～	根拠法令	埼玉県立史跡の博物館条例、同管理規則		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4, 8, 11		
					分野施策	0803	文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-7, 8-9, 11-4		
1 事業概要 さきたま史跡の博物館を適切に管理し、埼玉県の誇りである国宝「武蔵稲荷山古墳出土品」等の保管、資料の収集保護活用の円滑化、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の一層の保存活用を図るとともに、考古資料の展示や体験事業を通じて県民の学習活動を促進する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 情報・体験学習室の運営 442千円 イ 展示・広報活動 2,839千円 (2) 事業計画 ア 体験学習室の運営 まが玉作りや古代体験、さきたま講座、史跡探訪等の事業を行い、史跡や文化財に対する興味・関心を高める機会を提供する イ 企画展の開催 (ア) 最新出土品展の開催を予定 (イ) 企画展の開催を予定 (3) 事業効果 令和2年度利用者数 98,742人 → 令和5年度 120,900人(目標) (4) 県民・民間活用、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア まが玉作り等の事業でボランティアを活用 イ 広報誌等への掲載での相互協力、県立学校とのイベント等の実施 ウ 埼玉県埋蔵文化財調査事業団と連携して、ほるとま展を開催 エ 行田商工会議所及び世界遺産サポーターの会と連携して発掘調査現地説明会及び世界遺産関連講座を開催 オ 地元市町村や企業等と連携して、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の魅力を高め、広く周知							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 (区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細節) 社会教育施設費 (積算内容) 博物館費											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.6人=43,700千円											
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額		
		財産収入	諸収入								
決定額	△4,455	△4,424	△31				0	3,281			
現計額	7,736	5,865	121				1,750				

事業内訳書

事業名	さきたま史跡の博物館管理費		
単位事業名	情報・体験学習室の運営	予算額	△ 3,765千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	△3,164	—	さきたま史跡の博物館 まが玉づくり
諸収入・ 雑入	△31	—	史跡の博物館教育普及活動参加費
一般財源	△570	—	
合計	△3,765	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△6	—	講師謝金の減 1回分
需用費	△3,759	—	執行留保等による消耗品費の減
合計	△3,765	—	

単位事業名	展示・広報活動	予算額	△ 690千円
-------	---------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	△1,260	—	さきたま史跡の博物館 シンポジウム資料等
一般財源	570	—	
合計	△690	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△690	—	執行留保等による通信運搬費の減
合計	△690	—	